

本レポートは経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発刊致します。

白川町商工会では、事務受託をしている「美濃白川ポイントカード会」の加入事業者のポイント発行数を把握している為、そのデータを分析し、地域の商工業者様が経営に有効活用できる情報を提案していきます。

今回の調査対象期間は、令和6年10月から令和6年12月までの下半期のデータを提供いたします。12月末をもって従来のカード利用は終わり、令和7年3月よりしらかカードに変わるため、対象期間は3か月となります。

調査対象事業者は、38事業所（内訳 業種別：飲食業5者、小売業27者、サービス業6社：地域別 白川22者、黒川8者、坂ノ東5者、蘇原2者、佐見1者）です。

掲載内容についての詳細な内容、具体的な経営活用の手法についてのご相談等、お気軽にお問合せください。

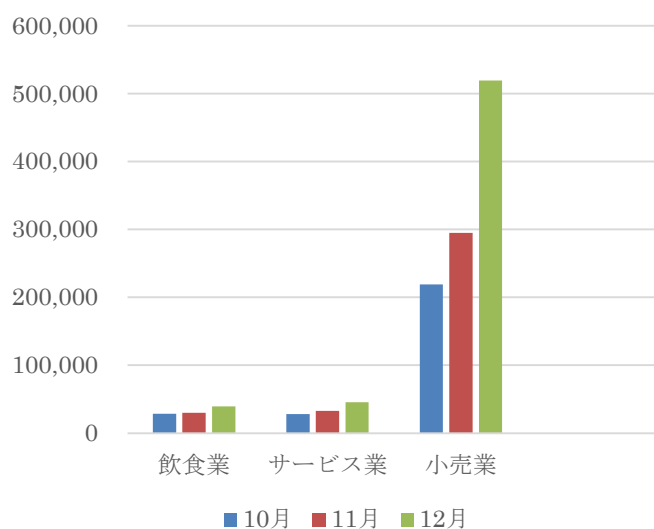
●業種別発行ポイント数

業種別の発行ポイント数は、小売業が最も多く、飲食業とサービス業では、サービス業の方が若干ポイント発行数は多くなりました。

業種ごとの合計を算出したところ、飲食業で97,000ポイント、サービス業で106,000ポイント、小売業は1,032,000ポイントで合計が1,235,000ポイントという結果になりました。

このため、100円（税抜き）に対して1ポイントを付与している為、令和6年の下期に飲食店においては9,700千円、サービス業は10,600千円、小売業は103,200千円で、合計123,500千円（税抜き）の町内での消費循環が図られました。

業種別ポイント発行数



●地区別発行ポイント数

地区別の発行ポイント数は、地区内（佐見6,000ポイント、坂ノ東250,000ポイント、白川517,000ポイント、蘇原115,000ポイント、黒川347,000ポイント）加入事業者の割合が大きく影響し、白川地区の発行数が多くなりました。

令和6年下期ではポイント2倍セール、ふるさと祭り抽選会（10月27日）、満点カード2.4倍返しセールを行いました。

12月末で旧カードでのお買い物が完全終了となり、満点カード1200円/枚セールを積極に行った結果12月のポイント発行数が増え、消費の増加につながりました

地域別ポイント発行数

